

## プロジェクト課題活動実績

### 課題名：集落営農法人設立による効率的な土地利用型農業の推進

柳井農林事務所農業部 チーム員：西村達也、藤原健、片山正之、河村俊和、  
明石義哉、末富貴子、中村友香

#### <活動事例の要旨>

国営緊急農地再編整備事業を契機に、柳井市・田布施町の国営事業地区や既存基盤整備地区で集落営農法人の育成を推進した。平成24年度末に9法人だったが平成27年度末に15法人となった。

平成28年度は、尾林（柳井市）宗兼（柳井市）で法人設立を目指したが設立できなかった。尾林は平成29年度は水稻の経営改善に取り組むことになった。宗兼は中心人物が法人化に反対のため検討を先送りし、隣接の北畑で平成29年度の設立に向けた勉強会を始めた。国営事業の工事計画が明らかとなった地区で営農の仕組みづくりの検討を再開した。国営事業の新規要望地区で営農ビジョンを作成した。

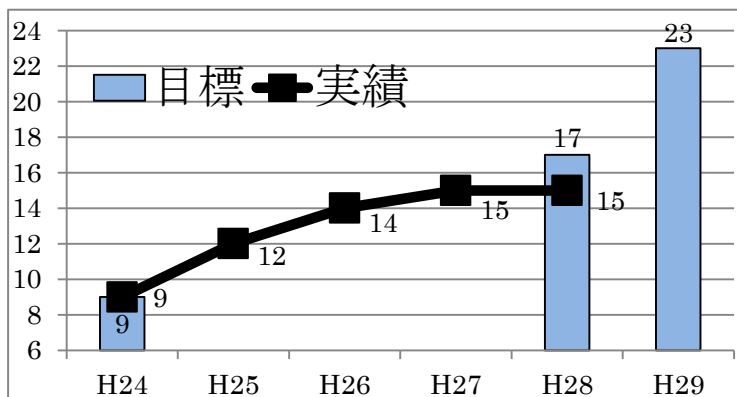
#### 1 普及活動の課題・目標

「集落の農地は集落で守る」ことを基本に集落営農法人の育成を進めてきたが、平成24年度末の集落営農法人は9法人と県内他地域に比べて少なかった。

そこで、平成23年度から始まった国営緊急農地再編整備事業の対象地区（柳井市・田布施町）で法人化への働きかけを加速させた。また、既存基盤整備地区でも担い手を明確にした農地集積を進めるため、法人化を推進した。その結果、平成27年度末の集落農業法人は15法人となった。

平成28年度は、国営事業地区では、担い手への農地集積を促進しより効率的な営農体制を図れるよう、面工事の進捗にあわせて農用地利用改善組合の設立と法人設立誘導を行った。また、既存基盤整備地区では、担い手への農地集積及び法人の設立誘導を行った。

集落営農法人の育成目標、実績



#### 2 普及活動の内容

##### (1) 既存ほ場整備地区での活動内容

###### ①【柳井市 尾林】

- ・営農組合役員を対象に、法人設立に関する勉強会を開いた。
- ・勉強会では、法人の構成員・出資金・農地・事業内容・運営方法や作業体制・補助事業の活用・営農計画の作成方法・個人（地権者や組合員）と法人の関係などを説明し検討した。営農組合の水稻の経営実態を把握したうえで改善策を提案し検討した。

- ・法人化の検討状況を営農組合の組合員に周知するため、チラシの作成・配布と集会での説明を行った。
- ・水稻を中心に経営をしている近隣法人の視察を企画し、理解促進を図った。



②【柳井市 宗兼】

- ・農地・水保全会臨時総会後に、法人化した際の収支試算、補助事業、草刈や地代の事例等を情報提供した。（尾林の勉強会）

③【柳井市 北畑】

- ・主要な担い手が法人化に関心を示していることから、近隣農家を含めた担い手による組織化（法人化）を提案した。
- ・法人化に関する勉強会では、法人の形態、中間管理機構を活用した農地集積や支援制度、営農試算など各種の情報を提供した。

④【柳井市 新庄南】

- ・ほ場整備の検討会議（営農部会14人など）に参加し、出し手と受け手（担い手）が連携した営農の仕組みづくりについて情報提供した。
- ・担い手候補2人からほ場整備完了後の営農構想を聞き取って経営試算を作成し、営農構想の実現性や経営の見通しを検討した。営農部会で営農構想の検討を促した。

⑤【柳井市 余田南】

- ・ほ場整備の検討会議（推進委員会9人）に参加し、出し手と受け手（担い手）が連携した営農の仕組みづくり、経営試算の方法、営農計画の検討の視点、先行法人の経営改善事例などを説明した。

(2) 国営緊急農地再編整備事業の実施地区での活動内容

⑥【柳井市 大の口】

- ・単独暗渠の予定地区だが工事開始時期が未定のため、活動なし。

⑦【柳井市 伊保庄】

- ・平成30年度の工事開始に向けて換地委員会や全体集会が開催され出席した。
- ・出し手組織の設立や検討スケジュールの提示の他、担い手候補（2者）との連携内容について説明した。

⑧【柳井市 伊陸中央】（新規要望地区）

- ・農地集積目標の設定、高収益作物の取組、集落営農法人の新設や近隣法人との連携など、ほ場整備後の営農体制を提案し、営農ビジョンの検討を促した。

⑨【柳井市 上大の口】（新規要望地区）

- ・農地集積目標の設定、高収益作物の取組、集落営農法人の新設など、ほ場整備後の営農体制を提案し、営農ビジョンの検討を促した。

⑩【柳井市 藤の木】（一部が新規要望地区）

- ・国営単独暗渠地区だが工事開始時期が未定のため、活動なし。
- ・新規要望地区に関して、農地集積目標の設定、高収益作物の取組、集落営農法人の新設や近隣法人との連携など、ほ場整備後の営農体制を提案し、営農ビジョンの検討を促した。（伊陸中央地区の藤の木地区の活動と重複）

⑪【田布施町 宿井（時貞・宿井・石の口）】

- ・平成30年度の工事開始に向けて換地委員会が開催され出席した。
- ・農地集積や出し手の組織化を円滑に進めるために、圃場整備後の営農の意向調査（ア

ンケート調査)を実施した。

- ・出し手組織の設立や検討スケジュールの提示の他、担い手候補との連携内容について説明した。
- ・担い手候補の体調不良に伴い、新たな担い手候補を検討した。

#### ⑫【田布施町 麻郷奥】

- ・平成30年度の工事開始に向けて換地委員会が開催され出席した。
- ・農地集積や出し手の組織化を円滑に進めるために、ほ場整備後の営農の意向調査(アンケート調査)を実施した。

#### ⑬【田布施町 吉井】(新規要望地区)

- ・農地集積目標の設定、高収益作物の取組、集落営農法人の新設など、ほ場整備後の営農体制を提案し、営農ビジョンの検討を促した。

#### ⑭【田布施町 西田布施・友石】(新規要望地区)

- ・農地集積目標の設定、高収益作物の取組、集落営農法人の新設など、ほ場整備後の営農体制を提案し、営農ビジョンの検討を促した。

#### ⑮【田布施町 新川・本町】(新規要望地区)

- ・農地集積目標の設定、高収益作物の取組、集落営農法人の新設など、ほ場整備後の営農体制を提案し、営農ビジョンの検討を促した。

#### ⑯【田布施町 中郷】(新規要望地区)

- ・農地集積目標の設定、高収益作物の取組、集落営農法人の新設など、ほ場整備後の営農体制を提案し、営農ビジョンの検討を促した。

### 3 普及活動の成果

#### (1) 既存ほ場整備地区

##### ①【柳井市 尾林】

- ・営農組合は預かった田を共同管理しており、法人的な運営をしていることがわかった。
- ・水稻の単収が低く赤字が続いており、現時点では法人化をすることはできないことがわかった。平成29年度は水稻の経営改善に取り組むことになった。

##### ②【柳井市 宗兼】

- ・法人化に向けて検討することになったが、中心人物が法人化に反対のため検討が進まなかった。
- ・このまま推進しても設立は無理だとわかったので、設立に向けた検討を先送りすることにした。

##### ③【柳井市 北畑】

- ・法人を設立する意向であり、勉強会を開催して検討を重ねることになった。
- ・平成29年度中の法人設立に向けて検討が始まった。

##### ④【柳井市 新庄南】

- ・担い手候補2人の営農構想とその試算が明らかになった。
- ・担い手候補2人の営農構想を踏まえて、ほ場整備の採択申請の営農計画について検討が進められることになった。

##### ⑤【柳井市 余田南】

- ・推進委員会メンバーに、営農の仕組みづくりや経営計画作成に関する基礎知識が蓄積されてきた。

#### (2) 国営緊急農地再編整備事業の実施地区

##### ⑥【柳井市 大の口】

・成果なし。工事開始の前年から地元の意向を把握していく。

⑦【柳井市 伊保庄】

・出し手組織の設立スケジュールを周知でき、検討が始まることになった。

⑧【柳井市伊陸中央】（新規要望地区）

・久可地、旭、藤の木の三地区毎に営農ビジョンが作成された。

・久可地は、隣接の（農）ウエスト・いかに組合員（理事）として参加し、農地集積し、主食用米・飼料用米・大豆・小麦等に取り組む営農ビジョンを作成した。

・旭は、集落営農法人を設立して中核的担い手とともに農地集積し、主食用米、飼料用米、小麦、タマネギ、アスパラガス、酒造好適米に取り組む営農ビジョンを作成した。

・藤の木は、担い手でオペ型の法人を設立して農地集積し、主食用米・飼料用米・大豆・小麦・リンドウに取り組む営農ビジョンを作成した。

⑨【柳井市 上大の口】（新規要望地区）

・担い手でオペ型の法人を設立して農地集積し、主食用米・小麦・リンドウに取り組む営農ビジョンを作成した。

⑩【柳井市 藤の木】（一部が新規要望地区）

・成果なし。工事開始の前年から地元の意向を把握していく。

・新規要望地区では、集落営農法人を設立して農地集積し、主食用米・飼料用米・大豆・小麦・リンドウに取り組む営農ビジョンを作成した。（再掲）

⑪【田布施町 宿井（時貞・宿井・石の口）】

・出し手組織の設立に向けた検討が始まることになった。

・新たな担い手候補の選定が始まった。

⑫【田布施町 麻郷奥】

・出し手組織の設立や営農の仕組みづくりについて検討が始まった。

⑬【田布施町吉井】（新規要望地区）

・集落営農法人を設立して農地集積し、主食用米・飼料用米・大豆・小麦・アスパラガスに取り組む営農ビジョンを作成した。

⑭【田布施町西田布施・友石】（新規要望地区）

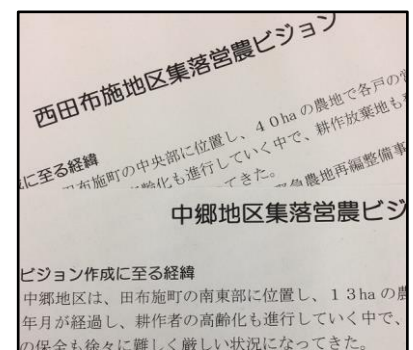
・既存集落営農法人2、認定農業者2に農地集積し、主食用米・飼料用米・大豆・小麦・いちじくに取り組む営農ビジョンを作成した。

⑮【田布施町新川・本町】（新規要望地区）

・既存法人と新規のオペ型法人に農地集積し、主食用米・飼料用米・大豆・小麦・アスパラガス・裸麦・いちじくに取り組む営農ビジョンを作成した。

⑯【田布施町中郷】（新規要望地区）

・集落営農法人を設立して農地集積し、主食用米・飼料用米・小麦・アスパラガスに取り組む営農ビジョンを作成した。



（営農ビジョン）

#### 4 今後の普及活動に向けて（平成29年度の活動内容）

##### (1) 既存ほ場整備地区

①【柳井市 尾林】

・法人設立、改善組合設立を先送りする。法人化後の経営安定につなげるため、営農組合の水稻の経営改善（単収向上）を進める。

②【柳井市 宗兼】

・法人設立、改善組合設立を先送りする。隣接の北畑の動向に注目し、連携の可能性を

探る。

③【柳井市 北畑】

- ・地区内主要担い手による法人設立、改善組合設立を目指す。隣接の宗兼との連携の可能性を探る。

④【柳井市 新庄南】

- ・採択申請書作成に向けて、担い手の選定と営農計画づくりを支援する。

⑤【柳井市 余田南】

- ・採択申請書作成に向けて、担い手の選定と営農計画づくりを支援する。

**(2) 国営緊急農地再編整備事業の実施地区**

⑥【柳井市 大の口】

- ・法人設立、改善組合設立を先送りする。工事の実施時期が明らかになれば、隣接地区との連携を考慮しながら、地元の意向を把握し営農計画作成を支援する。

⑦【柳井市 伊保庄】

- ・平成30年度からの面工事開始に向けて、農地集積や営農計画の検討を進めながら改善組合の設立を誘導し、営農の枠組みについて地区内の合意を得る。

⑧【柳井市 伊陸中央】（新規要望地区）

- ・追加申請手続きの進捗と年度末の仮同意に合わせて、隣接地区との連携も考慮しながら、営農ビジョンの具体化に向けた検討を促す。

⑨【柳井市 上大の口】（新規要望地区）

- ・追加申請手続きの進捗と年度末の仮同意に合わせて、隣接地区との連携も考慮しながら、地元の意向を把握する。

⑩【柳井市 藤の木】（一部が新規要望地区）

- ・工事の実施時期が明らかになれば、隣接地区との連携を考慮しながら、営農計画づくりを誘導する。

⑪【田布施町 宿井（時貞・宿井・石の口）】

- ・平成30年度からの面工事開始に向けて、担い手候補者の再選定を進めながら法人や改善組合の設立を誘導し、営農の枠組みについて地区内の合意を得る。

⑫【田布施町 麻郷奥】

- ・平成30年度からの面工事開始に向けて、集積意向の丁寧な把握やマップ化等による理解促進を図りながら法人や改善組合の設立を誘導し、営農の枠組みについて地区内の合意を得る。

⑬【田布施町 吉井】（新規要望地区）

- ・追加申請手続きの進捗と年度末の仮同意に合わせて、営農ビジョンの具体化に向けた検討を促す。

⑭【田布施町 西田布施・友石】（新規要望地区）

- ・追加申請手続きの進捗と年度末の仮同意に合わせて、営農ビジョンの具体化に向けた検討を促す。

⑮【田布施町 新川・本町】（新規要望地区）

- ・追加申請手続きの進捗と年度末の仮同意に合わせて、営農ビジョンの具体化に向けた検討を促す。

⑯【田布施町 中郷】（新規要望地区）

- ・追加申請手続きの進捗と年度末の仮同意に合わせて、営農ビジョンの具体化に向けた検討を促す。